

2017 12月



原水協通信

原水爆禁止日本協議会

発行人 赤松宏一

毎月1回6日発行

頒価 220円

電話 (03)5842-6031

FAX (03)5842-6033



原水爆禁止大阪府協議会 大阪府中央区谷町7-3-4 新谷町第3ビル210号 tel(06)6765-2552 fax(06)6765-2837

ヒバクシャ国際署名共同の力で取り組もう



☆挨拶に立った門真市原爆被害者の会会長 友清克二さん(中央)



☆今後の方針を提案した寝屋川市原爆被害者の会会長・山川美英さん

ちひろカレンダー3276本到達!

被爆者のみなさんが訴えているヒバクシャ国際署名を大きく共同の取り組みをすすめるようと、今精力的に活動がすすめられています。「ヒバクシャ国際署名推進大阪の会」の名称も正式に決定された第二回懇談会が十一月二十一日、大阪弁護士会館で開かれました。この懇談会には、二十二団体、二十九名が参加しました。十二月十八日の「結成総会」に向けて、活発な討議が行われました。

五原爆被害者会長が先頭に立って

十月二十三日、第一回の懇談会が開かれました。この懇談会の呼びかけ人は、山川美英さん(寝屋川市原爆被害者の会)、浦田月子

さん(岸和田市原爆被害者の会)、阪口善次郎さん(吹田市原爆被害者の会)、友清克二さん(門真市原爆被害者の会)、森容香さん(枚方市原爆被害者の会)の五人の会長さんです。府民過半数四〇〇万の署名をやりかたは、落語家の笑福亭竹

とげるには、被爆者が先頭に立ちました。林さんが参加してくださいました。 「結成総会」をみんなで成功を

新たに 加盟団体参加 呼びかけ人を代表して 山川美英さんから基調提案

ヒバクシャ国際署名推進 大阪の会・結成総会

- 日時:12月18日(月) 18時半~20時半
- 場所 エルおおさか南館ホール
- 集会内容
 - ・文化行事 ギター・尺八共演
 - ・記念講演 「核兵器のない世界へー被爆者としての想い」 日本原水爆被害者団体協議会 事務局 長 木戸季市氏
 - ・参加団体、賛同団体の紹介と発言
 - ・行動提起 ※参加費無料

○ヒバクシャ国際署名到達 (11月30日現在) **26万250筆**

○12月度6・9行動 ☆12月6日(水)12時~ 上本町近鉄百貨店前

※年末・年始 事務所お休み 12月26日~1月5日

ちひろカレンダー目標4000本達成を

民主書店からも追加注文づく

好評！2018ちひろカレンダー



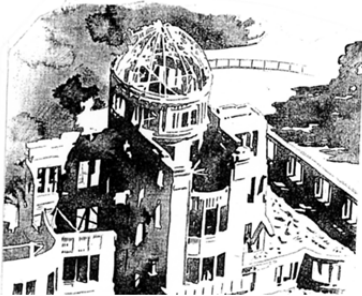
2018年いわさきちひろカレンダーが好評です。来年は、いわさきちひろ生誕百周年。子どもを描き続けて愛と平和を訴えたいいわさきちひろさんの絵が改めて再評価されています。2018年版の表紙になっている「ケシの花と少年」は、美しい赤と黄のケシの上に座る少年が描かれています。「一枚の美術品になっている」と、好評です。プレゼントやお歳暮に購入される方もいらつしやいます。

現在の到達は(十一月三十日総計) 3276本です。新婦人関係が1650本、地域原水協が1626本です。新婦人関係は、目標の1800本に近づいており、目標に到達する勢いです。書店からの注文も好調です。清風堂書店、風の本屋、吹田書房、梅書房などから、追加注文が続いています。「いわさきちひろの人氣は根強いものがあります」の感想でした。

被災地にカレンダーを贈る取り組みでは、岩手県、宮城県、福島県にカレンダーがすでに贈呈されています。日本原水協は、十一月十五日、十六日福島県いわき市、広野町の仮設住宅と学校を訪問し、千本のカレンダーを寄贈しました。中学生から感謝の言葉が送られ、代表団を励ましました。

2018年関西原水協学校

In 兵庫



☆関西原水協学校は兵庫、京都、滋賀、奈良、和歌山、大阪の原水協が力を合わせて毎年開催する学習会です。

- 開催場所 須磨温泉 「寿楼・別館臨水亭」
- 開催日 1月27日(土)～28日(日)
- 講義内容
 - ・1月27日 第1講義 「核兵器・憲法—日本の針路を解明する」 石川 康宏さん(神戸女学院大学教授)
 - ・1月27日 第2講義 「原爆症裁判から被爆者問題を考える」 藤原精吾さん(ノーモア・ヒバクシャ訴訟弁護団長)
 - ・1月28日 第3講義 「次のステップへ—核兵器禁止条約を受けて」安井正和さん(日本原水協事務局長) ※全日程参加17000円、夕食交流6000円、各講義1000円



十一月六日、大阪原水協の6・9行動が上本町・近鉄百貨店前で行われました。十二時から始められた署名宣伝行動には、大阪教職員組合、大阪自治労連などから八団体十五名が参加し、署名を訴えました。上六交差点には、「核兵器禁止条約にサインする政府」の横断幕がかかげられ、ジョー・オダネルさんの「焼き場の少年」の大きなパネルも準備され、署名への協力が訴えられました。

岩田幸雄・大阪原水協理事長は、準備されたピラを示して、「今こそ北朝鮮とアメリカの直接対話が求められており、圧力一辺倒の安倍首相の発言は、さらに軍事的緊張を高めます」と強調しました。インドからの旅行者も「オーイェス」と署名に応じ、総計四十五筆が集約されました。